

Web サイトの CMS 化および業務機能整備に関する事案 報告書

一般社団法人 在宅看護センター四国

作成日：2026 年 7 月 5 日

要旨

- 当法人の旧 Web サイトは、CMS ではなく複数の静的 HTML ファイルを個別に更新する構成であった。
- これを WordPress へ移行し、単なる情報発信サイトではなく、求人、職員投稿、承認、SEO、SNS、事業所情報管理を統合した法人専用 CMS へ発展させた。
- 主要な構築・改善作業は、担当者 1 名が ChatGPT の支援を受けながら、正味 3～4 日程度で実施した。
- 同等範囲を外注した場合、概算 210 万～550 万円程度の案件規模になり得る。
- STUDIO 等の汎用ノーコード CMS よりも、当法人の実務への適合性、独自機能、データ所有、外部連携の面で優位性が高い。

1. 事案の背景

当法人の旧 Web サイトは、WordPress 等の CMS で管理されていたものではなく、複数の HTML ファイル、CSS、画像、CGI 等をサーバー上に配置して運用する静的サイトであった。ページごとにファイルを直接修正する必要があり、更新作業は専門知識を持つ担当者に依存していた。

- お知らせや事業所情報の更新に、HTML ファイルの直接編集が必要だった。
- 採用情報や求人情報を自動更新する仕組みがなかった。
- 職員がスマートフォンから安全に投稿する仕組みがなかった。
- 旧 URL、SEO 情報、構造化データ、SNS 連携等を一元管理しにくかった。
- ページ追加や機能追加のたびに、個別ファイルの修正が必要だった。

この状態を改善するため、旧静的サイトを WordPress へ移行し、表示用テーマと業務別プラグインを組み合わせた法人専用 CMS として再構築した。

2. 実施した対応

対応項目	内容
静的 HTML から WordPress への移行	旧 HTML ページを WordPress の固定ページ・投稿へ整理し、既存 URL は 301 リダイレクトで新 URL へ統合。
法人専用テーマ	法人・事業所案内、採用、サービス、地域別ページ、スマートフォン表示に対応。
ハローワーク求人連携	事業所番号に合致する求人を自動取得し、職種、求人番号、ハローワーク側の勤務条件表示を地域別に掲載。
かんたきイベント CMS	開催日、会場、写真、本文、X 投稿文を管理し、専用ページへ掲載。
職員用投稿フォーム	WordPress 管理者権限を持たない職員が、PC・スマートフォンから共通パスワードで下書き投稿可能。
安全な承認フロー	個人情報確認を必須とし、職員投稿は自動公開せず管理者確認後に公開。
SEO 基盤	SEO タイトル、メタディスクリプション、canonical、XML サイトマップ、パンくず、地域別 SEO ページを整備。
構造化データ	3 事業所の名称、住所、電話番号、営業時間、URL 等を管理し、LocalBusiness JSON-LD を出力。
SNS 連携	WordPress 公開後に Blog2Social を利用して Facebook、Instagram、X へ展開。
周辺ファイル整備	.htaccess、robots.txt、llms.txt、問い合わせ・寄附 CGI 等を点検・修正。

3. 構築後の運用イメージ

構築後は、WordPress を単なる記事管理システムとしてではなく、法人の広報・採用・事業所情報・職員投稿を支える業務基盤として利用している。

- ・ 職員は専用投稿ページから、管理画面を意識せずに活動報告を下書き投稿できる。
- ・ 管理者は内容、写真、個人情報を確認してから公開できる。
- ・ 求人はハローワークの掲載内容を取得し、地域別ページへ自動表示できる。
- ・ 公開後の記事は SNS へ展開できる。
- ・ SEO、旧 URL、構造化データ、サイトマップを一体的に管理できる。

4. 開発期間と生産性

担当者の申告では、主要部分の構築・修正は正味 3～4 日程度で実施した。短期間で進められた主な理由は、要件を把握する法人内担当者が、設計、実装判断、本番確認、修正判断まで一貫して担当したことにある。

- ・ 発注者と開発者の間に伝達ロスがなかった。
- ・ 見積、契約、定例会、社内稟議、確認待ち等の工程を省略できた。
- ・ ChatGPT を、コード作成、原因分析、修正案、検査項目、文書化の補助として利用した。
- ・ 実際の業務を理解する担当者が、その場で仕様を確定できた。

比較	一般的な外注	今回
要件定義	ヒアリング・提案・見積・合意	担当者が即時判断
制作・開発	担当分担と工程間の引継ぎ	1 名 + ChatGPT 支援
修正	依頼・再見積・再納品	即時修正と本番確認
想定期間	概ね 2～4 か月	正味 3～4 日程度
速度差の目安	基準	納期ベース約 10～20 倍、純作業ベース約 5～10 倍

上記の倍率は、外注会社の体制や品質保証範囲によって変動するため、厳密な測定値ではない。ただし、意思決定と実装を同一担当者が行い、生成 AI を補助に使うことで、通常の外注工程と比べて大幅な短縮が実現した事例と評価できる。

5. STUDIO との比較

STUDIO は、視覚的なデザイン編集、サーバー保守不要、一般的なページ更新の容易さに強みを持つ。一方、当法人の現行 CMS は、法人固有の業務処理をプラグインとして実装できる点が大きく異なる。

項目	当法人 CMS	STUDIO
業務適合性	法人の運用に合わせて専用化	一般的な Web サイト制作に強い
求人自動取得	実装済み	外部システムが必要
職員投稿	専用認証・下書き・通知を実装	外部フォーム等が必要
承認・個人情報確認	システムで強制可能	運用設計または外部機能が必要
見た目の編集	専用プラグイン化により改善可能	視覚編集が得意
独自サーバー処理	PHP・プラグイン・CGI を利用可能	外部サービス連携が前提
SEO・301 制御	テーマ・プラグイン・.htaccess で詳細制御	サービス仕様の範囲内

データ所有	DB・画像・テーマ・プラグインを法人保有	プラットフォーム依存が大きい
将来の移行	標準形式に分離すれば移行しやすい	CMS・デザインの書き出し制約に注意

当法人の用途では、求人取得、職員投稿、管理者承認、構造化データ、SNS 連携、将来の Chatwork・AI 連携までを一体で扱う必要がある。そのため、一般的な企業案内サイトとしての使いやすさでは STUDIO に利点があるものの、当法人の業務適合性では現行 CMS が明確に優位である。

6. 金額面の評価

以下は正式な見積ではなく、公開されている Web 制作・WordPress 開発の相場を参考に、今回の機能範囲を外注した場合の概算価値を内部評価したものである。

区分	概算額	内容
静的 HTML から CMS への移行・テーマ制作	60～150 万円	ページ再構築、レスポンス、URL 移行、SEO 基盤
求人自動取得プラグイン	40～100 万円	取得、解析、キャッシュ、地域別表示、障害時保持
イベント CMS・職員投稿フォーム	40～100 万円	専用項目、認証、画像、下書き、通知
構造化データ・SNS・外部連携	30～80 万円	3 事業所管理、SNS、将来連携設計
試験・調整・移行・文書化	40～120 万円	検証、修正、手順、障害対応
合計概算	210～550 万円	保守契約、追加要件、第三者診断は別途

一般的な WordPress サイト制作は数十万～百数十万円程度の相場例があり、オリジナルテーマ、独自プラグイン、API・外部連携は別途数十万円単位となる例がある。今回の事案は、通常の企業サイト制作に複数の独自業務機能が加わるため、合計が数百万円規模になる可能性は十分にある。

一方、今回の内部開発では外部への現金支出を大幅に抑えられたが、担当者の人件費、学習時間、保守責任、障害対応負担は法人内部のコストとして認識する必要がある。

7. 本事案の評価

- 静的 HTML の集まりだった Web サイトを、法人専用 CMS へ転換した。
- 単なるページ更新の効率化にとどまらず、求人、職員投稿、承認、SEO、SNS を業務基盤として統合した。
- 法人業務を理解する担当者と生成 AI の組み合わせにより、短期間・低コストで高い開発生産性を実現した。
- 汎用ノーコード CMS では外部サービスが必要となる機能を、WordPress 内で一体的に管理できる。
- テーマ、プラグイン、データベース、画像を法人側で保持でき、将来の移行自由度も確保している。

8. リスクと今後の対応

リスク	対応
属人化	仕様書、プラグイン一覧、データ保存先、更新手順、復旧手順を整備する。
短期開発による試験不足	変更ごとにバックアップ、PHP 構文検査、主要 URL、スマートフォン、管理画面を確認する。
外部サイトの仕様変更	求人取得失敗時は前回キャッシュを保持し、手動確認できる設計を維持する。
セキュリティ	WordPress、PHP、プラグイン、権限、パスワードを定期点検する。
10 年後のリプレース	本文、画像、事業所情報、求人、SEO 情報をテーマに埋め込まず、標準投稿、メタ、JSON、CSV 等へ分離する。

9. 結論

本事案は、既存 CMS の改修ではなく、静的 HTML ファイルの集合であった旧サイトを、WordPress を基盤とする法人専用 CMS へ移行・再構築したものである。

現行 CMS は、当法人の求人、広報、職員投稿、個人情報確認、事業所情報、SEO、SNS 運用に合わせて専用化されており、STUDIO 等の汎用サービスよりも当法人業務への適合性が高い。

主要機能を正味 3～4 日程度で構築・改善した点は、法人内の業務知識、開発判断、迅速な意思決定、ChatGPT による開発支援を組み合わせた生産性向上の事例である。

今後は、約 10 年間の安定運用を目標とし、日常編集機能のプラグイン化、保守資料の整備、バックアップ・復旧手順の確立、重い処理の外部分離を進める。同時に、10 年後のリプレースを容易にするため、データと表示処理を分離した構成を維持する。

参考資料

1. Studio 料金プラン：独自ドメインでの公開は月額 590 円から（Studio 公式）
2. Studio CMS データ等のエクスポート：CMS データ・デザインデータのエクスポート機能は現時点で未提供（Studio 公式ヘルプ、2026 年 3 月）
3. WordPress：オープンソースのパブリッシングプラットフォームで、テーマ・機能を柔軟に拡張可能（WordPress.org 日本語）
4. WordPress 制作相場例：30 万～150 万円程度、要件により数百万円（2026 年版の複数制作会社資料）
5. 独自プラグイン開発相場例：20 万～80 万円、API 連携 30 万～100 万円（2026 年の制作会社資料）